



# 杉山たかのり ニュース

市議会内 日本共産党市会議員団控室 Tel.35-3368

自宅 西宮市津門仁辺町 5-21 Tel・Fax35-1682

団ホームページ <http://nishinomiya.jcp-giin.net/>

ブログ・ツイッター [杉山たかのり](#) フェイスブック [杉山孝教](#) で検索を

9 月市議会定例会 杉山たかのりの一般質問 その③

## 20 億円の基金で国保料引き下げを！



次に、国民健康保険料の引き下げについて質問します。

我が党議員団は、現在、市民アンケートを行っておりますが、最も多い西宮市政への要望が、国民健康保険料の引き下げです。1000 通近く返送されてきていますが、49%の方が引き下げて欲しいと答えています。国保料は、支払い能力を大きく超え、市民生活を脅かすほど、高額になっている

るからです。

国保料の引き下げについては、わが党議員団はこれまでも繰り返し要求してきました。

2007 年度まで、国民健康保険料は兵庫県で一番高かったため、日本共産党と市民とが署名運動や市との交渉など引き下げ運動を大いに取り組み、市議会でも繰り返し取り上げた結果、市は一般財源を投入して保険料を引き下げようになり、ようやく県下一高い保険料という汚名を返上し、順位を下げています。一般会計からの繰り入れ額は、2008 年度から年間 2 億 5 千万円を 4 年間、2012 年度からは、年間 10 億円を 3 年間継続しています。2013 年度では一人当たりの国保料は、全県の自治体で、高い方から 10 番目になっています。

しかし、それでも徐々に保険料は引き上げられ、「国保料を引き下げて欲しい」「払える金額にしてほしい」というのが、市民の願いです。

国民健康保険特別会計の状況は、2012 年度決算では剰余金が 14 億 8300 万円、財政安定化基金は 10 億 2400 万円を積立て残高は 14 億 9300 万円になっています。2013 年度決算見込みでは剰余金が 11 億 4600 万円で、その半分を積立てるだけでも基金残高は 20 億円を超える状況です。

## 質問

①20億円を超える財政安定化基金を活用すれば、来年度の国保料の引き下げは十分可能だと思います。剰余が出れば、その時の加入者に還元するのは当然です。来年度は保険料の引下げを検討するべきではないですか。

②保険料の抑制と減免の拡充で、一般会計からの繰り入れは、この3年間、毎年10億円となっていますが、医療費の増大などから考えれば、いずれ増額が必要となってきます。今後、10億円を超える繰入金を投入する意思はあるか。

## 市の答弁

国民健康保険の医療費の伸びとともに繰入金を増額していくことは、市の財政を圧迫していくことになるとともに、本来、国民健康保険は保険料や国県補助金等から賄われるべきという原則からも、今まで以上に乖離することになるので、適切ではないと考えている。

なお、平成29年度を目途に国民健康保険の運営が市町村から基本的には都道府県により担われることが法により規定されている。国保の運営が都道府県単位化された場合の、具体的な保険料の設定のあり方は、現在、協議が進められているところであり、国の動向を注視する必要がある。

平成27年度の保険料については、基金の状況も踏まえ、うえて平成26年度の決算見込状況、今後の医療費の動向等を総合的に判断して保険料率を決定したい。

## 解説

国民健康保険は、国民皆保険制度のセーフティーネットの役割も果たしているため、無職や所得が低い被保険者の加入が多く、また、高齢者の加入割合も高く、保険料も高くなる。しかし、保険料が高い原因は国が補助金を減らしたことによる。西宮市は10億円を投入し抑制をはかっている。今回、国保会計で多額の黒字が生じ、20億円にも達しており、保険料引き下げの財源にできることから、杉山議員は2014年度の引き下げを提案。市は基金の残高も考慮して保険料を決定すると答えたのです。市民が声を上げれば、国保料引き下げの可能性は十分にあります。

## 2013年度決算から見える西宮市の財政状況は・・・

今村市長は市長選挙の際、西宮市は危機的な財政状況だと言って、アサヒビール工場跡地の購入と公共施設建替をムダ使いだと言いました。しかし、実情は全く逆です。

2013年度決算では約45億円の黒字、自由に使える基金（貯金）約215億円にその2分の1を積み立てると約237億円になります。また、2012、13年度は地方交付税（市の必要な財源の不足を国が補填する）をまかなう臨時財政対策債を15億円使わず、2年とも大幅黒字を生じさせており、「財政の余裕」とともに「財源に見合った市民サービスをしていない」というのが、西宮市の財政状況です。つまり、財源があるのに市民のための施策を行わず貯め込んでいるのです。今村市長の言う「財政が危機的状況」とは真っ赤なウソです。